

4 本時の学習

- (1) 学習材料(花の街)を聴いて
- (2) 発表する人へ挨拶を向ける

3人組の合唱練習
響きのあはれ声 →
音程の揺らぎ → 12音階
の音階

つりを理解し、歌唱表現を創意工夫して歌う。

指導上の留意事項

(学習活動の目的・意図、内容、方法等)

○前時までの学びを振り返ったり、歌詞が表している情景や心情について話し合ったりして、それらを思い浮かべながら「花の街」を歌うことができるようにする。

導入 5分

- 前時を振り返って、1, 2番を歌う。
- 「花の街」の3番の歌詞が表す情景や心情を想像する。
- ◇1番の歌詞と比べて、悲しい言葉を使っている。

めあて 「花の街」の曲想を感じ取って表現を工夫しよう。

③生徒の言葉で課題を設定する。

(「問い」を生み出す手立て等)

○1, 2番の歌詞と対比して、3番の歌詞の特徴を捉えられるようにする。

【学習課題】 3番の歌詞に合う表現をするためには、1, 2番と対比させどのような工夫をして歌えばよいだろう。(強弱、音色)

3, 4人のグループで話し合う。

課題の解決に向けて活動する。

3番の歌詞にはどんな思いが込められているのか確認する。

○前時までのワークシート等を振り返り、3番の歌詞に込められた思いを感じながら、まず自分の考えを持てるようにする。

個人で、強弱などの表現の工夫について考える。

【具体の評価規準】 思①

楽曲の内容から感じ取ったイメージを自分なりに理解し、思いや意図をもって表現の工夫に繋げている。
(方法：ワークシートの記述)

「春の 夕暮れ」は、夕暮れの雰囲気を出したいので、ふんわりとfで歌い「ひとり 寂しく」のmpで語るように歌いたい。

【到達していない生徒(グループ)への手立て】

○3番の雰囲気について対話しながら、歌詞や曲想を生かした工夫ができるようなヒントを与える。

で意見交換をする。

で歌いながら、ふさわしい音楽表現を習する。

【具体の評価規準】 態①

○ 創意工夫を生かした表現をするために自分の意見を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。又、学習全体を振り返り、自らの学びを踏まえて記述している。
(方法：ワークシートの記述・発言)

ひとり 寂しく」は、言葉の発音を工夫して寂しい様子が伝わる歌い方にしている。

【期待される学びの姿】

感じ取った曲想や音楽の構造、歌詞の内容との関わりなどを基に、歌い試しながら、どのように工夫して歌うかについて、思いや意図を書いている。

【到達していない生徒(グループ)への手立て】

○強弱の加減や言葉の扱いを変化させて歌うなどしながら、3番の歌詞にふさわしい表現について対話し、よりふさわしい表現を求めることができるようにする。

⑤発表しながら意見を広める。

1, 2番との対比についても、発表の中から適宜行う。

まとめる。

○生徒の表現の工夫を基にまとめ、それを生かして歌うよう促す。

【まとめ】 曲想(歌詞)に合う歌唱表現にするためには、(言葉の発音 や 強弱) を工夫する など。

終末 10分

- 4 学習したことを振り返る。
- ・1番から3番まで歌う。

○生徒の歌を聴いて、最初の頃の曲の捉え方から変化してきた部分や思いが伝わった部分を伝える。

3人のグループで意見交換する。

3人組の意見交換の様子